

## 第5学年

単元名	内 容	ページ	学習指導要領との関連	主な指導事項	時数		
Ⅱ けがの防止	※ 学習への動機付け	20	5・6年G (2)	単元の見通し	5・6年 G (2) イ	けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現すること。	
	1 学校生活でのけがの防止	22	5・6年G (2) ア (ア)	学校生活の事故が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。			1
	2 交通事故の防止	26	5・6年G (2) ア (ア)	交通事故が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。			1
	3 地域での安全	32	5・6年G (2) ア (ア)	身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。			1
	4 けがの手当て	38	5・6年G (2) ア (イ)	けがなどの簡単な手当ては、速やかに行う必要があること。			1
	☆ わたしの安全せん言	45	5・6年G (2)	単元のまとめ	1		

## 第6学年

単元名	内 容	ページ	学習指導要領との関連	主な指導事項	時数		
Ⅲ 病気の予防	※ 学習への動機付け	46	5・6年G (3)	単元の見通し	5・6年 G (3) イ	病気を予防するために、課題を見付け、その解決に向けて考え判断するとともに、それらを表現すること。	
	1 病気の起こり方	48	5・6年G (3) ア (ア)	病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わりあって起こること。			1
	2 感染症とその予防	52	5・6年G (3) ア (イ)	病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。			1
	3 生活のしかたと病気① —生活習慣病の予防—	57	5・6年G (3) ア (ウ)	生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとることなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。			1
	4 生活のしかたと病気② —むし歯や歯周病の予防—	61	5・6年G (3) ア (ウ)	生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。			1
	5 喫煙の害と健康	65	5・6年G (3) ア (エ)	喫煙の行為は、健康を損なう原因となること。			1
	6 飲酒の害と健康	70	5・6年G (3) ア (エ)	飲酒の行為は、健康を損なう原因となること。			1
	7 薬物乱用の害と健康	74	5・6年G (3) ア (エ)	薬物乱用の行為は、健康を損なう原因となること。			1
	8 地域の保健活動 —わたしたちの健康を守る—	78	5・6年G (3) ア (オ)	地域では、保健に関わる様々な活動が行われていること。			1
	☆ わたしのいきいき宣言	81	5・6年G (3)	単元のまとめ	1		